



たるみ歯科通信



2016年 10月号 No.70

こんにちは！歯科技工士の山北です。

2011年1月からスタートした「たるみ歯科通信」も今月で70号！！
毎月担当スタッフがお客様の健康に興味をもっといただけるようにと
趣向を凝らして発行しています。これからも役に立つ情報を
どんどん発信していきますのでよろしくお願い致します！

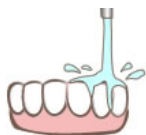
さて今月は「入れ歯のお手入れ」についてお伝えしたいと思います。

入れ歯は人工の歯なのでムシ歯にはなりません、一見キレイでも
お口の中の細菌がたくさん付着しています。汚れたままだと口臭の元にな
ったり、変色したりしますから、長くきれいに使っていくためには
正しいお手入れが必要なのです。

其の壱

入れ歯をはずして「専用ブラシ」で汚れを洗い流すべし！

- 入れ歯専用歯ブラシはブラシの形状や硬さが入れ歯を磨きやすいようにデザインされていますので、汚れをしっかりと落としてくれます。
- 毎食後磨くのが理想的ですが、夜に入れ歯を外した時には一度丁寧に洗いましょう。
- 歯磨き粉には研磨剤が含まれているものが多く、ゴシゴシ磨くと細かい傷がついてしまうので、歯磨き粉を使用せず流水で洗いましょう。
- 部分入れ歯の金具の部分は変形しないように軽い力で磨きましょう。



其の貳

定期的に「入れ歯洗浄剤」を使うべし！



- 入れ歯洗浄剤は目に見えない細菌の繁殖を防ぎ、ブラシでは落ちにくい汚れを落とします。
- 入れ歯の素材や形、それぞれの特徴に合った洗浄剤を選びましょう。当院で販売している洗浄剤<キラリ>は、二酸化チタン配合でその触媒効果で洗浄・除菌します。義歯を痛めない中性タイプなので入れ歯の素材を問わず使用していただけます。



其の参

入れ歯は丁寧に取り扱いましょう！



- 入れ歯を長時間外に出したまま乾燥させてしまうと、ヒビ割れや変形の原因になります。水を入れた容器で保管しましょう。
- 60℃以上の熱湯やアルコールや漂白剤を使ってのお手入れは、入れ歯の素材である樹脂を変形させてしまう恐れがあります。入れ歯は水またはぬるま湯を使ってお手入れをしてください。

入れ歯を長く快適に使うためには、
丁寧なお手入れと定期的な医院でのメンテナンスが必要です！

歯科技工士の山北でした。



★お知らせ★

矯正診療日は20日(木)の午後です

院内研修のため28日(金)の午後は休診いたします

